

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。 なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・シンガポール・リミテッドが運用を行います。	
主要運用対象	Navio インド債券 ファンド	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラス	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

Navio インド債券ファンド



第54期（決算日：2016年10月18日）
 第55期（決算日：2016年11月18日）
 第56期（決算日：2016年12月19日）
 第57期（決算日：2017年1月18日）
 第58期（決算日：2017年2月20日）
 第59期（決算日：2017年3月21日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「Navio インド債券ファンド」は、去る3月21日に第59期の決算を行いましたので、法令に基づいて第54期～第59期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
30期(2014年10月20日)	11,185		50	△1.2	0.1	—	97.3	1,171
31期(2014年11月18日)	12,226		50	9.8	0.1	—	98.0	1,271
32期(2014年12月18日)	12,009		50	△1.4	0.1	—	97.7	1,250
33期(2015年1月19日)	12,324		50	3.0	0.1	—	97.3	1,287
34期(2015年2月18日)	12,389		50	0.9	0.1	—	97.6	1,302
35期(2015年3月18日)	12,591		50	2.0	0.1	—	97.4	1,334
36期(2015年4月20日)	12,418		50	△1.0	0.1	—	97.5	1,325
37期(2015年5月18日)	12,127		50	△1.9	0.1	—	98.1	1,297
38期(2015年6月18日)	12,450		50	3.1	0.1	—	98.0	1,244
39期(2015年7月21日)	12,572		50	1.4	0.1	—	97.3	1,263
40期(2015年8月18日)	12,330		50	△1.5	0.1	—	98.0	1,241
41期(2015年9月18日)	11,776		50	△4.1	0.1	—	97.1	1,194
42期(2015年10月19日)	12,031		50	2.6	0.1	—	97.5	1,228
43期(2015年11月18日)	12,215		50	1.9	0.1	—	97.3	1,258
44期(2015年12月18日)	12,031		50	△1.1	0.1	—	97.9	1,235
45期(2016年1月18日)	11,254		50	△6.0	0.1	—	98.0	1,168
46期(2016年2月18日)	10,823		50	△3.4	0.0	—	97.6	1,126
47期(2016年3月18日)	10,864		50	0.8	0.1	—	98.5	1,136
48期(2016年4月18日)	10,765		50	△0.5	0.1	—	98.4	1,126
49期(2016年5月18日)	10,711		50	△0.0	0.0	—	98.1	1,123
50期(2016年6月20日)	10,181		50	△4.5	0.0	—	98.1	1,065
51期(2016年7月19日)	10,413		50	2.8	0.0	—	98.5	1,086
52期(2016年8月18日)	10,037		50	△3.1	0.0	—	98.2	1,049
53期(2016年9月20日)	10,150		50	1.6	0.0	—	97.2	1,055
54期(2016年10月18日)	10,437		50	3.3	0.0	—	98.1	1,076
55期(2016年11月18日)	10,885		50	4.8	0.0	—	98.3	1,121
56期(2016年12月19日)	11,728		50	8.2	0.0	—	98.3	1,196
57期(2017年1月18日)	11,189		50	△4.2	0.0	—	97.9	1,146
58期(2017年2月20日)	11,227		50	0.8	0.0	—	97.4	1,156
59期(2017年3月21日)	11,395		50	1.9	0.0	—	97.5	1,173

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	投 資 信 託 券 率
第54期	(期 首) 2016年9月20日	円 10,150	% -		% 0.0	% -	% 97.2	
	9月末	10,177	0.3		0.0	-	98.0	
	(期 末) 2016年10月18日	10,487	3.3		0.0	-	98.1	
第55期	(期 首) 2016年10月18日	10,437	-		0.0	-	98.1	
	10月末	10,593	1.5		0.0	-	98.2	
	(期 末) 2016年11月18日	10,935	4.8		0.0	-	98.3	
第56期	(期 首) 2016年11月18日	10,885	-		0.0	-	98.3	
	11月末	11,161	2.5		0.0	-	98.0	
	(期 末) 2016年12月19日	11,778	8.2		0.0	-	98.3	
第57期	(期 首) 2016年12月19日	11,728	-		0.0	-	98.3	
	12月末	11,484	△2.1		0.0	-	98.1	
	(期 末) 2017年1月18日	11,239	△4.2		0.0	-	97.9	
第58期	(期 首) 2017年1月18日	11,189	-		0.0	-	97.9	
	1月末	11,378	1.7		0.0	-	97.9	
	(期 末) 2017年2月20日	11,277	0.8		0.0	-	97.4	
第59期	(期 首) 2017年2月20日	11,227	-		0.0	-	97.4	
	2月末	11,209	△0.2		0.0	-	97.4	
	(期 末) 2017年3月21日	11,445	1.9		0.0	-	97.5	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

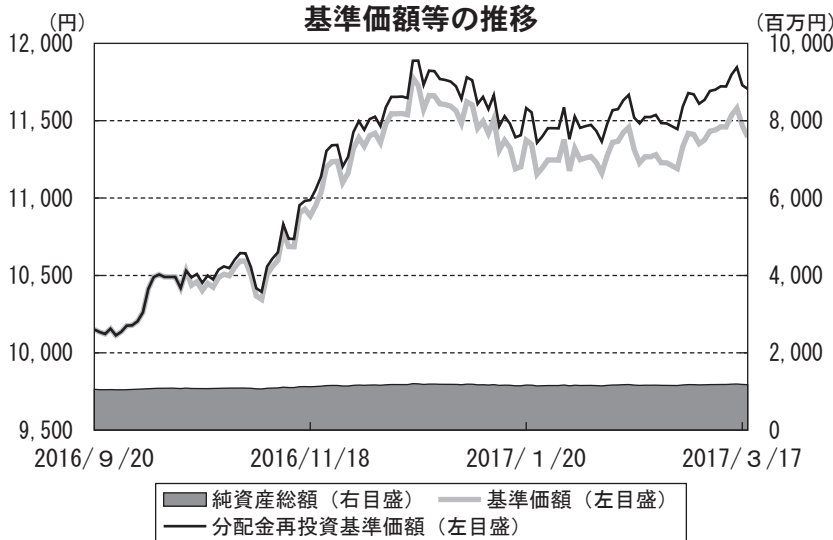
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第54期～第59期：2016/9/21～2017/3/21)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ15.3% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を獲得したこと、中短期ゾーンのインドルピー建てインド国債が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

(第54期～第59期：2016/9/21～2017/3/21)

金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・インドルピー建てのインド債券市場では、インド政府が高額紙幣の廃止を発表したことを受け、銀行預金の急増から銀行によるインド国債への需要が増加するとの観測が高まったことなどがインド金利の低下材料となりました。一方、インド準備銀行（中央銀行）が2016年12月および2017年2月に政策金利の据え置きを発表したことや金融政策のスタンスを「緩和的」から「中立」に変更したことなどがインド金利の上昇材料となりました。その結果、インド金利は中短期ゾーンで低下した一方、長期ゾーンで上昇しました。
- ・米ドル建てのインド債券市場では、2016年11月に米大統領選挙で保護主義的な政策を掲げるドナルド・トランプ氏が勝利したことなどを受けてリスク回避の動きが広がる局面があったものの、その後原油価格が上昇したことや世界的に株式市場が底堅く推移したことなどから、リスク回避の動きが後退しました。その結果、当作成期を通じて見ると、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米国の大統領選挙後に米国金利が上昇したことなどをを受けて円安が進行したことに加え、インド準備銀行が金融政策のスタンスを変更したことなどが影響し、当作成期を通じて見ると、インドルピーは対円で上昇しました。

◎国内短期金融市場

- ・当作成期の短期金融市場を見ると、日本銀行は2016年9月の金融政策決定会合で金融市場調整方針を、マネタリーベースの年間約80兆円に相当するペースでの増加から、長短金利の操作に変更する決定をしました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移しました。2017年3月21日のコール・レートは-0.042%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

< N a v i o インド債券ファンド >

- ・円建て外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスへの投資を通じて、インドの債券などを高位に組み入れました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ・当作成期は、債券の利子収益を獲得したこと、中短期ゾーンのインドルピー建てインド国債が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

<アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラス>

基準価額は当作成期首に比べ16.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

◎種別構成など

- ・インド関連の発行体が発行するインドルピー建て債券や米ドル建て債券などを組み入れたポートフォリオで運用しました。インドルピー建て債券については、流動性などを勘案し、国債を中心に事業債や政府機関債などを組み入れて運用しました。米ドル建て債券については、ファンダメンタルズが良好と考えるインド関連の発行体が発行する事業債を中心に、国際機関債を一部組み入れて運用しました。
- ・米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを概ね回避しました。為替については、米ドル売りインドルピー買いの為替取引を行い、インドルピーの比率を高位としました。
- ・当作成期は、バリュエーション面での判断に基づき、インドルピー建てのインド国債の組入比率を引き下げ、米ドル建てのインド事業債の組入比率を引き上げました。
- ・当作成期を通じて見ると、債券の利子収益を獲得したこと、中短期ゾーンのインドルピー建てインド国債が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

2016年8月末

2017年2月末

最終利回り	4.83%	➡	最終利回り	3.98%
デュレーション	3.31年		デュレーション	2.42年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

- ・残存期間の短い社債を組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年9月21日～ 2016年10月18日	2016年10月19日～ 2016年11月18日	2016年11月19日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月18日	2017年1月19日～ 2017年2月20日	2017年2月21日～ 2017年3月21日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.477%	0.457%	0.425%	0.445%	0.443%	0.437%
当期の収益	50	50	50	46	50	50
当期の収益以外	—	—	—	3	—	—
翌期繰越分配対象額	3,193	3,199	3,206	3,203	3,203	3,205

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<N a v i o インド債券ファンド>

◎今後の運用方針

- ・円建て外国投資信託への投資を通じてインドの債券などを高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

<アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラス>

◎運用環境の見通し

- ・インド債券市場では、インド準備銀行が商品価格上昇などを背景に政策金利の引き下げを実施するのが難しいと見られる一方、市場介入などを通じて債券市場を安定化する政策を実施すると見込まれることから、インド国債の債券市況は当面レンジ内で推移すると予想しています。中長期的には政府の財政健全化策を含む構造改革などがインド債券市況にプラスに寄与すると考えます。
- ・為替市場では、インドの構造改革が進展すると見込まれること、相対的に良好なファンダメンタルズや高い金利水準等を背景にインド債券市場に対する資金流入が継続すると見込まれることなどから、インドルピーは対米ドルや対円で底堅く推移すると考えます。

◎今後の運用方針

- ・インドの債券などに投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合については、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。また、米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを回避します。
- ・インドルピー建て債券の組み入れを高めとし、債券種類別では国債のほか、財務基盤が優良だと考える政府機関債などや事業債も組み入れて運用します。また、インドルピー建て債券については、バリュエーション面で投資妙味があると考えられる中期ゾーンの債券を選好します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日本銀行の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローン等短期金融商品や残存期間の短い社債などへの投資を通じて、安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年9月21日～2017年3月21日)

項 目	第54期～第59期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(20)	(0.179)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.396)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	66	0.598	
作成期中の平均基準価額は、11,000円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年9月21日～2017年3月21日)

投資信託証券

銘 柄		第54期～第59期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-12Jクラス	—	—	1	12,820	

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年9月21日～2017年3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 900	百万円 —	百万円 —	百万円 900	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2017年3月21日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第53期末		第59期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I 2 Jクラス			千口 108		千口 107	千円 1,144,166	% 97.5
合	計		108		107	1,144,166	97.5

(注) 比率はN a v i o インド債券ファンドの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第53期末		第59期末		
		口	数	口	数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド			千口 885		千口 885	千円 901

○投資信託財産の構成

(2017年3月21日現在)

項	目	第59期末	
		評 価 額	比 率
投資信託受益証券		千円 1,144,166	% 96.9
マネー・マーケット・マザーファンド		901	0.1
コール・ローン等、その他		35,801	3.0
投資信託財産総額		1,180,868	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第54期末	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末
	2016年10月18日現在	2016年11月18日現在	2016年12月19日現在	2017年1月18日現在	2017年2月20日現在	2017年3月21日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,083,167,699	1,127,641,060	1,204,427,065	1,152,627,601	1,162,943,878	1,180,868,667
コール・ローン等	26,027,949	24,015,982	26,931,762	29,892,533	35,913,890	35,800,013
投資信託受益証券(評価額)	1,056,237,890	1,102,723,218	1,176,593,443	1,121,833,208	1,126,128,128	1,144,166,794
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	901,860	901,860	901,860	901,860	901,860	901,860
(B) 負債	6,256,725	6,252,377	7,540,768	6,451,532	6,397,996	6,898,315
未払収益分配金	5,159,143	5,150,907	5,102,507	5,121,715	5,150,778	5,151,064
未払解約金	125,465	1,099	1,264,528	177,330	304	638,199
未払信託報酬	969,448	1,097,358	1,170,513	1,149,318	1,243,488	1,106,004
未払利息	33	33	38	43	45	42
その他未払費用	2,636	2,980	3,182	3,126	3,381	3,006
(C) 純資産総額(A-B)	1,076,910,974	1,121,388,683	1,196,886,297	1,146,176,069	1,156,545,882	1,173,970,352
元本	1,031,828,608	1,030,181,481	1,020,501,426	1,024,343,009	1,030,155,740	1,030,212,860
次期繰越損益金	45,082,366	91,207,202	176,384,871	121,833,060	126,390,142	143,757,492
(D) 受益権総口数	1,031,828,608口	1,030,181,481口	1,020,501,426口	1,024,343,009口	1,030,155,740口	1,030,212,860口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,437円	10,885円	11,728円	11,189円	11,227円	11,395円

○損益の状況

項 目	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
	2016年9月21日～ 2016年10月18日	2016年10月19日～ 2016年11月18日	2016年11月19日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月18日	2017年1月19日～ 2017年2月20日	2017年2月21日～ 2017年3月21日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	5,754,935	5,970,159	5,882,544	5,893,892	5,897,907	5,573,557
受取配当金	5,755,496	5,970,949	5,883,459	5,894,672	5,898,928	5,574,433
受取利息	45	—	—	43	54	49
支払利息	△ 606	△ 790	△ 915	△ 823	△ 1,075	△ 925
(B) 有価証券売買損益	29,972,773	46,473,385	86,291,084	△ 54,669,112	4,289,804	18,010,000
売買益	29,977,589	46,490,756	86,689,270	90,671	4,295,049	18,038,926
売買損	△ 4,816	△ 17,371	△ 398,186	△ 54,759,783	△ 5,245	△ 28,926
(C) 信託報酬等	△ 972,084	△ 1,100,338	△ 1,173,695	△ 1,152,444	△ 1,246,869	△ 1,109,010
(D) 当期損益金(A+B+C)	34,755,624	51,343,206	90,999,933	△ 49,927,664	8,940,842	22,474,547
(E) 前期繰越損益金	△ 24,922,377	4,661,308	50,222,879	135,592,107	80,403,222	83,940,933
(F) 追加信託差損益金	40,408,262	40,353,595	40,264,566	41,290,332	42,196,856	42,493,076
(配当等相当額)	(89,543,518)	(89,675,439)	(89,565,065)	(91,736,860)	(94,036,714)	(94,768,155)
(売買損益相当額)	(△ 49,135,256)	(△ 49,321,844)	(△ 49,300,499)	(△ 50,446,528)	(△ 51,839,858)	(△ 52,275,079)
(G) 計(D+E+F)	50,241,509	96,358,109	181,487,378	126,954,775	131,540,920	148,908,556
(H) 収益分配金	△ 5,159,143	△ 5,150,907	△ 5,102,507	△ 5,121,715	△ 5,150,778	△ 5,151,064
次期繰越損益金(G+H)	45,082,366	91,207,202	176,384,871	121,833,060	126,390,142	143,757,492
追加信託差損益金	40,408,262	40,353,595	40,264,566	41,290,332	42,196,856	42,493,076
(配当等相当額)	(89,543,518)	(89,675,439)	(89,565,065)	(91,736,860)	(94,036,714)	(94,768,155)
(売買損益相当額)	(△ 49,135,256)	(△ 49,321,844)	(△ 49,300,499)	(△ 50,446,528)	(△ 51,839,858)	(△ 52,275,079)
分配準備積立金	239,938,957	239,976,113	237,705,066	236,402,541	236,018,525	235,471,627
繰越損益金	△235,264,853	△189,122,506	△101,584,761	△155,859,813	△151,825,239	△134,207,211

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 1,040,310,426円
 作成期中追加設定元本額 24,121,850円
 作成期中一部解約元本額 34,219,416円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1,1395円です。

② 分配金の計算過程

項 目	2016年9月21日～ 2016年10月18日	2016年10月19日～ 2016年11月18日	2016年11月19日～ 2016年12月19日	2016年12月20日～ 2017年1月18日	2017年1月19日～ 2017年2月20日	2017年2月21日～ 2017年3月21日
費用控除後の配当等収益額	5,598,427円	5,845,054円	5,807,837円	4,741,574円	5,176,233円	5,311,588円
費用控除後・繰越欠損金繰填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	89,543,518円	89,675,439円	89,565,065円	91,736,860円	94,036,714円	94,768,155円
分配準備積立金額	239,499,673円	239,281,966円	236,999,736円	236,782,682円	235,993,070円	235,311,103円
当ファンドの分配対象収益額	334,641,618円	334,802,459円	332,372,638円	333,261,116円	335,206,017円	335,390,846円
1万口当たり収益分配対象額	3,243円	3,249円	3,256円	3,253円	3,253円	3,255円
1万口当たり分配金額	50円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	5,159,143円	5,150,907円	5,102,507円	5,121,715円	5,150,778円	5,151,064円

○分配金のお知らせ

	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
1 万口当たり分配金 (税込み)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2017年3月21日現在)

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(1,574,474千円)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第59期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	100,000 (100,000)	100,165 (100,165)	6.2 (6.2)	— (—)	— (—)	— (—)	6.2 (6.2)
合 計	100,000 (100,000)	100,165 (100,165)	6.2 (6.2)	— (—)	— (—)	— (—)	6.2 (6.2)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第59期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券 第113回オリエックス	% 2.19	千円 100,000	千円 100,165	2017/4/18
合 計		100,000	100,165	

国内その他有価証券

区 分	第59期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,999	% 87.3

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12 Jクラス	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主としてインドの現地通貨建て債券等に投資することにより安定した収益の確保および信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合には、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体が発行する社債および短期金融商品への投資比率は、純資産総額の10%以下とします。 ・一銘柄あたりの投資比率は、発行残高の10%以下とします。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。 ・純資産総額の50%以上を、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する債券または短期金融商品に投資するものとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	原則として、毎年12月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として、毎月最終営業日に経費控除後の利子収益および売買益等から分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

損益計算書、投資家持分純資産、投資有価証券明細表はAMUNDI PREMIA-AMUNDI INDIAN BOND FUND FINANCIAL STATEMENTS 31 December 2015版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、アムンディ・インディア・ボンド・ファンドで掲載しています。

(1) 損益計算書 (STATEMENT OF TOTAL RETURN)

(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2015年12月31日終了年度)

米ドル

控除：費用

監査費用	11,612
カストディアン費用	8,807
運用報酬	185,613
助言費用	7,988
登録費用	7,130
信託費用	37,206
取引費用	1,250
その他費用	50,738
	<u>310,344</u>

純支出

(310,344)

投資収益

実現損益	224,679
外国為替先渡取引実現損益	(11,142)
先物取引実現損益	(34,459)
外国為替取引実現損益	(74,602)
	<u>104,476</u>

税引き前損益

(205,868)

控除：所得税

(87,141)

税引き後配当前収益

(293,009)

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

24頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 投資家持分純資産

(2015年12月31日終了年度)

米ドル

決算期初における投資家持分純資産	13,362,096
オペレーション	
オペレーションにより変化した投資家持分純資産	(293,009)
投資行動による投資家持分純資産の増減	
設定	43,828,125
解約	(28,475,614)
設定解約による投資家持分純資産の増減	15,352,511
分配金額	(1,101,060)
投資家持分純資産の増加/(減少)合計額	13,958,442
決算期末における投資家持分純資産	27,320,538

(3) 投資有価証券明細表

(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2015年12月31日現在)

業種別	保有額面	時価評価	投資家持分 純資産対比
		米ドル	%
時価評価債券			
銀行			
Asian Development Bank GMTN 1.125% 05/06/2018	1,500,000	1,493,003	5.46
Asian Development Bank GMTN 2.25% 18/08/2017	1,500,000	1,527,188	5.59
HDFC Bank Limited EMTN REG 3% 06/03/2018	600,000	605,153	2.22
		<u>3,625,344</u>	<u>13.27</u>
電力			
NTPC Ltd EMTN 5.625% 14/07/2021	800,000	874,412	3.20
Nuclear Power Corporation of India Ltd 8.14% 25/03/2026	150,000,000	2,259,242	8.27
		<u>3,133,654</u>	<u>11.47</u>
金融			
Power Finance Corporation limited Series 125 8.65% 28/12/2024	100,000,000	1,539,310	5.63
政府			
Government of India 7.28% 03/06/2019	100,000,000	1,496,480	5.48
Government of India 8.12% 10/12/2020	50,000,000	767,706	2.81
Government of India 8.15% 24/11/2026	250,000,000	3,817,704	13.97
Government of India 8.19% 16/01/2020	100,000,000	1,539,159	5.63
Government of India 8.24% 10/11/2033	100,000,000	1,529,659	5.60
Government of India 8.28% 21/09/2027	50,000,000	770,547	2.82
		<u>9,921,255</u>	<u>36.31</u>
石油ガス			
Bharat Petroleum Corporation Ltd 4.625% 25/10/2022	200,000	206,140	0.75
ONGC Videsh Ltd 2.5% 07/05/2018	800,000	794,688	2.91
Reliance Holding USA Incorporation 5.4% 14/02/2022	500,000	543,233	1.99
Reliance Industries Ltd 4.125% 28/01/2025	1,200,000	1,177,008	4.31
		<u>2,721,069</u>	<u>9.96</u>
政府機関			
Food Corporation of India 9.95% 07/03/2022	100,000,000	1,625,289	5.95
公益			
Power Grid Corporation of India 3.875% 17/01/2023	500,000	496,882	1.82
Power Grid Corporation of India 8.2% 23/01/2025	100,000,000	1,497,092	5.48
		<u>1,993,974</u>	<u>7.30</u>
未収経過利息		509,073	1.86
投資資産		25,068,968	91.75
その他純資産		2,251,570	8.25
投資家持分純資産		<u>27,320,538</u>	<u>100.00</u>

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

22頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第24期》決算日2016年11月21日

[計算期間：2016年5月21日～2016年11月21日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月21日に第24期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第24期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
20期(2014年11月20日)	10,183	0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2016年5月20日	10,183	—	39.0	—
5月末	10,184	0.0	37.2	—
6月末	10,185	0.0	29.1	—
7月末	10,184	0.0	27.4	—
8月末	10,183	0.0	17.7	—
9月末	10,184	0.0	17.0	—
10月末	10,184	0.0	21.1	—
(期末) 2016年11月21日	10,184	0.0	24.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

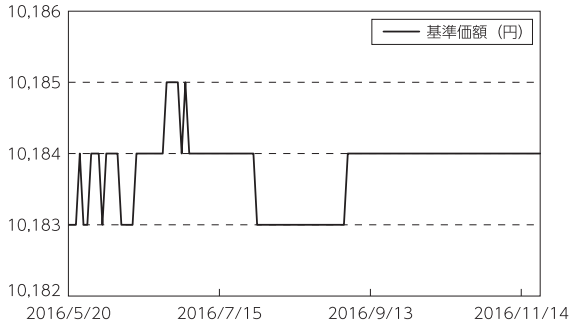
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は2016年9月の金融政策決定会合で金融市場調整方針を、マネタリーベースの年間約80兆円に相当するペースでの増加から、長短金利の操作に変更する決定をしました。コール・レート（無担保・翌日物）は、2016年1月末に日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」で決定した-0.1%金利の適用開始以降であることから、マイナス圏で推移しました。11月21日のコール・レートは-0.051%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間の短い国債や社債などを組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益が積み上がったことなどから、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・足下の為替は円安方向に推移していますが、1年前と比較すると依然として円高水準であることから、物価を押し上げる効果はまだ期待できない状況です。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローン等短期金融商品や残存期間の短い社債などへの投資を通じて、安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年5月21日～2016年11月21日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2016年5月21日～2016年11月21日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 —	千円 — (183,750)
	特殊債券	—	— (400,000)
	社債券	—	— (500,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分です。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 500,099,403	千円 499,999,414

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年5月21日～2016年11月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年11月21日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券	1,077,900 (1,077,900)	1,079,434 (1,079,434)	24.4 (24.4)	— (—)	— (—)	— (—)	24.4 (24.4)
合 計	1,077,900 (1,077,900)	1,079,434 (1,079,434)	24.4 (24.4)	— (—)	— (—)	— (—)	24.4 (24.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
普通社債券	%	千円	千円		
第300回北陸電力	0.5	177,900	177,907	2016/11/30	
第459回東北電力	0.869	200,000	200,408	2017/2/24	
第282回四国電力	0.35	200,000	200,024	2016/12/22	
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,020	2016/12/2	
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,000	2016/12/2	
第113回オリックス	2.19	100,000	100,882	2017/4/18	
第156回オリックス	1.14	100,000	100,193	2017/1/27	
合 計		1,077,900	1,079,434		

国内その他有価証券

区 分	当 期	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 3,099,994	% 70.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2016年11月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,079,434	20.9
その他有価証券	3,099,994	60.1
コール・ローン等、その他	978,776	19.0
投資信託財産総額	5,158,204	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年11月21日現在)

項目	当期末
(A) 資産	5,158,204,613
コール・ローン等	976,375,992
公社債(評価額)	1,079,434,116
その他有価証券(評価額)	3,099,994,388
未収利息	2,400,117
(B) 負債	737,658,191
未払解約金	737,656,790
未払利息	1,401
(C) 純資産総額(A-B)	4,420,546,422
元本	4,340,785,954
次期繰越損益金	79,760,468
(D) 受益権総口数	4,340,785,954口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,184円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,462,308,836円
 期中追加設定元本額 1,301,104,721円
 期中一部解約元本額 2,422,627,603円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0184円で。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	260,403,123円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	62,265円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	309,607,834円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,016,989円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	26,506,400円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	393,503円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	6,333,539円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	217,654円

○損益の状況 (2016年5月21日～2016年11月21日)

項目	当期
(A) 配当等収益	5,619,165
受取利息	5,706,293
支払利息	△ 87,128
(B) 有価証券売買損益	△ 5,360,511
売買損	△ 5,360,511
(C) 当期損益金(A+B)	258,654
(D) 前期繰越損益金	100,161,728
(E) 追加信託差損益金	23,908,894
(F) 解約差損益金	△ 44,568,808
(G) 計(C+D+E+F)	79,760,468
次期繰越損益金(G)	79,760,468

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407, 171円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	25, 034, 575円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	1, 364, 852円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	945, 824円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2, 576, 702円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3, 148, 614円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67, 305円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	3, 491, 685円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	31, 208, 972円
	欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	756, 099円
	欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	684, 529円
三菱UFJ	米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491, 836円
三菱UFJ	米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98, 368円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12, 561, 714円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	69, 931円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158, 381円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20, 660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40, 278円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955, 887円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1, 559, 264円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	442, 974円
	ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19, 658円
	ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19, 658円
	ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19, 658円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491, 449円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9, 828, 976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	12, 234, 366円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554, 804円
	バリュウ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1, 936, 118円
	バリュウ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9, 829円
	バリュウ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9, 829円
	バリュウ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9, 829円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9, 834, 580円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13, 128, 307円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3, 730, 759円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5, 059, 469円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1, 395, 312円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	163, 666円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	3, 908, 079円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3, 737, 703円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4, 117, 720円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686, 803円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961, 645円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608, 110円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	27, 087円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	365, 661円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	977, 814円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	979, 545円
三菱UFJ	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	3, 730, 849円
三菱UFJ	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 859, 081円
三菱UFJ	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1, 168, 184円
三菱UFJ	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2, 065, 331円
	ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
	ビムコ・エマーシング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円

米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	1,084,126円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	3,874,252円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	658,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,570円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	4,824,746円
Navi o インド債券ファンド	885,966円
Navi o マネーボールファンド	2,298,520円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9,896,661円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	6,999,249円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	365,273,064円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	40,262円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	2,559,476,016円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	42,678,508円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	133,410,509円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
合計	4,340,785,954円